

【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

苦手だと思つとむずかしくなるお金とのお付き合い

発行者：牧野 F P 事務所 合同会社 代表社員 牧野寿和

牧野 F P 事務所 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

<第 496 号の目次>

■ 今週のテーマ

苦手だと思つとむずかしくなるお金とのお付き合い

■ 「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ

■ 「人生の添乗員 (R)」牧野寿和のプロフィール

■ 編集後記

それでは、
今週のテーマからはじめます。

*:**

■ 今週のテーマ

苦手だと思つとむずかしくなるお金とのお付き合い

*:**

わたくしたちがお金とお付き合いする期間は、
生涯、ご自身の年齢と同じ期間です。

生まれてから永遠に旅立つまで、
お金と直接的にまた間接的に、
お付き合いをしています。

生涯で一番長いお付き合いをするのは、

お金、といっても過言ではありません。

それならば、
お金と親しくお付き合いできたほうが、
いいな、とは思いますが、
お金は苦手だという人もいます。

そこで今回は、
なぜ、お金とのお付き合いは苦手なのか、
その理由を考えて、
苦手を克服する方法も考えてみます。

目に見えるお付き合いは減る一方

私たちの直接お金とのお付き合いは、

子どもころに、
お小遣いや正月にお年玉をもらい、
そのお金を使ったり
貯めたりすることから始まります。

と同時に、

- ・品物には値段がついていること
 - ・その値段の分のお金を、
お店の人に渡さないと品物はもらえないこと
 - ・そのお金には、
1円から5円、10円、50円、100円
500円といった硬貨があることや
また、1000円札、5000円札、1万円
といったお札があること
 - ・すぐに使わないお金は、銀行に預けておくこと
 - ・お金は、大切なもの
- とった、これらの知識は、
親や祖父母や年長の兄弟から、
時にはお店の人から教えてもらいました。

また、大人がお金を使っているところを見て、
学びました。

しかし、現在はキャッシュレスの時代です。
子どもころからすでに、
硬貨やお札で直接買い物をする機会は、

少なくなったことは否めません。

その分、お金を知る機会が、
少なくなっているかもしれません。

お金は生涯お付き合いを続ける

とはいっても、どの家庭でも、
給与や年金といった収入を受け取るために、
銀行の預貯金口座を持っています。

硬貨やお札を使わないでも、
お金との付き合いは生涯続くのです。

ここまでは、
誰もが思っていることでしょう。

さらに、ここからは、
興味のある人とならない人に分かれる、
金融商品を例に、
お金との付き合いの話を進めます。

元本保証の金融商品は安全

現在、50代以降の方は、
1990年代から2000年にかけて、
銀行の定期預貯金の預入金利が
年利5.0%前後だったことを
覚えているでしょう。

銀行にお金を預けておけば、
目に見える、利子や利息が付きました。

また、万が一の保障はもちろんのこと、
貯蓄お金を増やすことも目的に、
養老保険や定期死亡保険といった、
保険商品に加入することもありました。

これらの商品は、預けたお金、元本が、
保証されている、

いわゆる安全な金融商品です。

意外に思われる方もいますが、
元来保険商品は、保障と貯蓄を兼ね備えた
金融商品です。

簡単に収益は得られなくなった

しかし、それから 20, 30 年近く経ち、
今では、元本が保証されている金融商品では、
利子、利息は望めなくなっています。

現在は、元本が保証されていて、
収益を得ることができる金融商品は、
上述の銀行の預貯金と
個人向け国債、一部の保険商品ぐらいです。

ただ、銀行に預けてもご存じのように、
利子や利息からの収益は期待できません。
また、上述の他の元本が保証されている
金融商品からも収益は期待できません。

また、収益などの税制が優遇される
NISA（ニーサ：少額投資非課税制度）や
iDeCo（イデコ：個人型確定拠出年金）といった、
制度を利用して、
決められた金融商品を選んで、
運用して収益を得ることもできます。

ただ、運用する金融商品の元本は、
保証されていません。

これらのことから、

以前のように銀行に預けておくだけで、
お金が働いてくれる時代は、
はるか昔に過ぎ去っています。

お金に興味を持つ

私が、相談にみえた方に

このような金融商品の話をすると、

- ・ すごく興味を持って質問をしてくる
 - ・ 私はお金には無縁だ
 - ・ お金を持っていない
- と、いった人がいます。

人とお付き合いをするなら、
また、その人を好きになるなら、
自分勝手な理由を考えて言う前に、
まず、その人に興味を持ちます。

お金とのお付き合いも同じだと思います。

お互いの信頼関係とは

お金と長年お付き合いをすることで、
お互いの信頼関係も生まれます。

たとえば、
今までにも、株式や投資信託といった、
金融商品で投資の経験がある人が、

退職金などまとまったお金が
手もとに入ったとき、
いくらくらいまでなら投資に回してもいいか、
相談にみえることもあります。

この年代の方で投資の経験のある方は、
2008年のリーマンショックのときなどに、
元本割れの経験のある人もいます。

でも、いまだに投資を続けて、
退職金の一部まで、
投資の資金に使おうとしているのです。

なぜそこまで、
お金を信用しているのでしょうか。

私は、人さまざまな理由を聞いています。
個々の理由をここに記載することは、
個人情報保護などの観点から叶いません。

しかし、ご自身でも、
お金とより良い関係を保つため、
勉強もして、

なおかつ、お金を信用している。

ということと言えます。

苦手は自分が作るもの

人と付き合うのと同様、
お金と付き合うには、

お金を、苦手と思い込む前に、
興味を持って、
お金のことを知ることが大切なようです。

つまり、お金とは、
・自分が欲しいものを得るために、
 交換の手段として使うのか
・自分の資産を増やすためにも使うのか

お金と付き合う目的を明確にして、
お金と付き合わない、

お金と付き合うことはむずかしい。

「お金は苦手だ！」

といった、結論に達してしまうのです。

*****:
■「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ
*****:

お金も人と同様、

苦手と置いていても、

付き合ってみると、

結構、相性はいいかもしれません！？

:

■人生の添乗員（R）牧野寿和のプロフィール

:

日本で唯一「人生の添乗員（R）」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

創業 19 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、
日本の方と他国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。
そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、
日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。
2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ 1100 件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・ NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）協会 CFP（R）認定者
- ・ 1 級ファイナンシャル・プランニング技能士（資産設計提案業務）
- ・ 福祉住環境コーディネーター
- ・ 総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ～テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<執筆>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談は、名古屋市内はもとより
愛知、岐阜、三重県、
首都圏や関西にも
リモートでお会いする機会が増えました。

「人生の添乗員（R）」は、

他人を気にすることなく、
相談者ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:

■編集後記

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:

高貴な方と話をするのは苦手だから、

お金とも話をしたくない。

生涯、お金のことを、

自分勝手な思い込みで終えてしまう、

残念な人が、

世の中には、いるかもしれませんね！？

【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

来週もご愛読のほど、
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■ 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。

こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで
お願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野FP事務所合同会社 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。
ご自身の責任でご判断下さい。
